

●カムシャフト

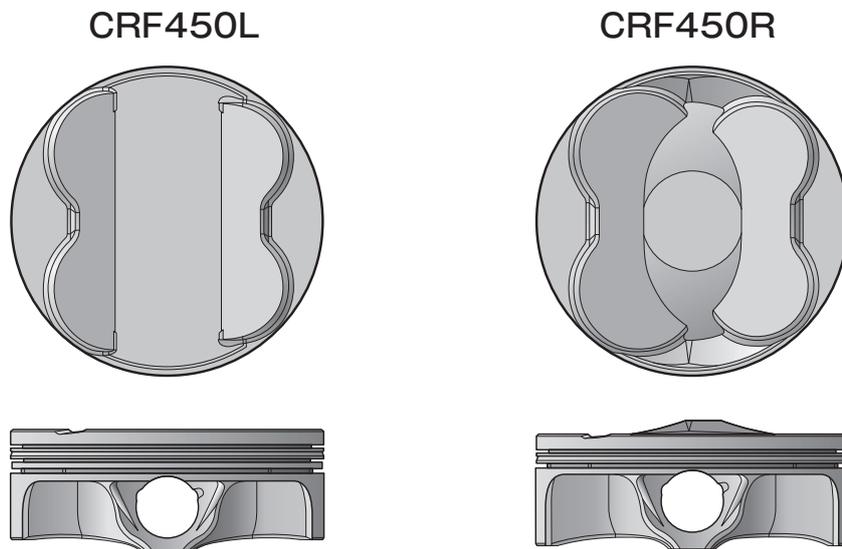
CRF450Rに対して低中回転域のコントロール性の向上と燃焼安定化のため、バルブタイミング・リフト量を最適化しています。

●ピストン

CRF450Lに求められるエンジン特性に合わせ、圧縮比を13.5から12.0に変更するためにピストン頭部形状を見直しました。

また十分なメンテナンススケジュールを確保するためにピストンの強度やプロフィールを最適化しています。

各国の排出ガス規制を余裕をもってクリアするためにCRF450Rに対して、ピストンリングを2本から3本にすることでシール性を向上させ、オイル消費の低減も実現しています。



■ピストン形状比較イメージ図

●ロッカーアーム

CRF450Rと同様に高品質DLCコーティングを採用することで、フリクションを低減。

スリッパ面の形状もCRF450Lのバルブタイミング・リフト量に合わせ最適な形状としました。



■ロッカーアーム形状比較イメージ図